

6 3000匹を放流



4 54年ぶりの金環日食



5 左から2番目が小城さん



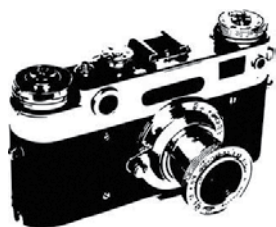
6 ヒラメの放流！元気に帰ってきてね

5月24日（木）、東串良町の柏原海岸においてヒラメの稚魚の放流が行われました。

東串良漁協共同組合が資源の大切さを知ってほしいと毎年開催しているもので、大丸小学校と持留小学校の23名と、東串良町の柏原小学校から21名が参加しました。

放流に先立ち、大隅地域振興局の職員からヒラメの生態についてクイズを交えながら学びました。

海岸では、小さなバケツに体長約10cmの稚魚を数匹ずつついで、ゆっくり海へ放ちました。児童らは、「元気に帰ってきてね」と声をかけながら、波間に消える稚魚を見守りました。



4 金環日食！54年ぶりの天文ショー

5月21日（月）朝、鹿児島県で54年ぶりとなる金環日食を観測しようと益丸海岸には、九州各地から多くの人々が訪れました。

悪天候のため、太陽はほとんど雲に覆われていましたが、月がきれいに重なる7時20分ごろ、厚い雲の切れから数秒の間、日食を観測することができ、世紀の天文ショーに歓声が上がりました。

5 金環日食の記念に木製看板を寄贈！

松ヶ鼻集落の小城武明さんは、金環日食を記念に木製看板を製作し、5月28日（月）、野方小学校に寄贈しました。

看板は、1.5m程の平木に『金環日食』と彫刻が施され、黒と金のペンキで仕上げられています。

小城さんは、「次に見られるのは、18年後の北海道。子どもたちの記憶に残るように製作した。」と話されました。